

基本方針および施策目標の取組状況

上段:評価件数 下段:割合

函館市交通事業経営ビジョン進行管理全体総括(平成30年度まで)

平成30年度は、全国相互利用交通系ICカードICAS-nimocaの更なる活用として、IC定期券の運用を開始しました。その他、快適性の向上を図るため、3両の車体改良を実施しました。また、北海道胆振東部地震によるブラックアウトの影響で2日間にわたり運休しましたが、概ね財政計画どおりの乗車料金収入を確保しました。

これまでの取組(平成29年度～平成30年度)につきましては、電路の改良や停留場へのスロープ設置を実施したほか、事故防止に係る研修や訓練を行うなど、安全性の向上に向けた取組を進めました。また、1両の超低床車両を導入し5両の車体改良を実施したほか、ICカードの更なる活用を図るなど、快適性や利便性の向上へ向けた取組を進めました。マラソンやコンサートなど、地域のイベントがある場合は増車運行を実施し、地域を支える取組を進めました。電車の利用促進に向けては、市電沿線において各戸に電車の利用を促すチラシを配布するなど収益性の向上に向けた取組を進めました。

財政計画におきましては、計画を上回る累積財源残額を確保しています。

これらの結果として、平成30年度までの交通事業経営ビジョンの取組状況は、「概ね順調」と考えています。

基本方針および施策目標		「B」評価以上	「A」評価	「B」評価	「C」評価	「D」評価	計
1 れる安全で公共交通	(1)安全性の向上	4	0	4	0	0	4
	計	4	0	4	0	0	4
		100%	0%	100%	0%	0%	100%
2 サービス提供	(1)快適性の向上	2	0	2	0	0	2
	(2)利便性の向上	5	0	5	0	0	5
	計	7	0	7	0	0	7
		100%	0%	100%	0%	0%	100%
3 への貢献	(1)地域社会への貢献	3	0	3	0	0	3
	計	3	0	3	0	0	3
		100%	0%	100%	0%	0%	100%
4 経営基盤の強化	(1)収益力の向上	2	0	2	0	0	2
	(2)経営の効率化	2	0	2	0	0	2
	計	4	0	4	0	0	4
		100%	0%	100%	0%	0%	100%
合計		18	0	18	0	0	18
		100%	0%	100%	0%	0%	100%

A : 完了した・計画を上回っている

B : 概ね計画どおりに進んでいる

C : 計画を下回っている

D : 著しく計画を下回っている